

第7回

—木育が創る・動かす

日本の未来—



# 木育サミットin新木場

2020.2.8 [土] 開催時間 10:00-16:20

参加費 ￥1,000(資料代) 開催場所 木材会館(東京木材問屋協同組合)

情報・参加予約申し込み webにて受付中

右記サイトの予約フォームにてご応募ください ▶ [goodtoy.org/ms](http://goodtoy.org/ms) 木育サミット 検索



※参加費は入場される方から一律で頂戴いたします。※サイトでは昨年の開催プログラムも掲載しています。

お問い合わせ：認定NPO法人芸術と遊び創造協会 tel: 03-5367-9601 fax: 03-5367-9602 Email: ws@mokukulab.info

主催：認定NPO法人芸術と遊び創造協会/東京おもちゃ美術館 協賛：東京木材問屋協同組合・東京原木協同組合・東京木場製材協同組合(予定) 林野庁補助事業  
後援：一般財団法人地域活性化センター・公益財団法人森林文化協会・全国木材組合連合会・日本木材青年団体連合会(申請中を含む)



# 第7回 木育サミット

## 『木育が創る・動かす 日本の未来』

木に親しみ、木を活かし、木と共に生きていく「木育」の活動を多くの方に知っていただくための木育サミット。今回は、木材の消費地としての役割が期待される東京において、「木育」の取り組みが環境や社会にどう貢献するのかを考えます。また、地域や企業・団体がその垣根を越えて連携している成功事例から、「木育」が次のフェーズへ進むための新たな着想を得たいと思います。

### ◆ 主催者挨拶



多田 千尋

認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会 理事長・東京おもちゃ美術館 館長

2013年度から開催されている木育サミット。木育の最新情報の発信源であるこの大会を、東京の木材流通の中心地である江東区新木場において開催できることを大変喜ばしく思います。

私たちは、くらしに「木」を取り入れ、子どもをはじめとする全ての人たちが木のぬくもりを感じながら豊かなくらしを送ることを目指す「ウッドスタート」の取り組みを進めてきています。そして全国各地で木育に取り組む方々との連携・協働を行ってきました。そのことで木育が広まってきたのも確かです。一方で、木育が国民運動、つまり誰もが知っている段階にまで発展しているかと言えば、NOと言わざるを得ません。

そこで今回の木育サミットでは、全体テーマを「木育が創る・動かす 日本の未来」と定めました。7回目を迎える今回は、これまで木育への理解や推進を図ってきた過去の大会成果を次のフェーズに繋げるための機会としたいと考えております。世代を超えて、業種を超えた学びを通して、未来に繋がる新たな木育活動の展開が始まるきっかけとなることを期待しております。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

### ◆ 実行委員長挨拶



一條 達雄

一條ランバー株式会社代表取締役 第7回木育サミットin新木場実行委員長

このたび新木場におきまして、第7回木育サミットが開催できること、本当に喜ばしく思います。開催に先立ち、ご協力、ご支援をいただいた皆様に厚く御礼申しあげます。

さて今年から、森林環境譲与税という将来に向けての新しい税制度がスタートしました。現在、全国の自治体がその使い途について、議論を進めてきていますが、森や林業がない東京23区といった都市部にもこの税は配分されます。都市地域から遠く離れたところにある森は、時には豊かな暮らしを支える水源として、時には地球温暖化防止のための二酸化炭素の吸収源として、あるいは疲れを癒すリクリエーションの場として…、都市住民に対しても、様々な恩恵をもたらします。その森で今、起きていることをしっかりと知り、そのためには何ができるのか。すべての人が考えることが重要です。

実行委員会を中心として準備を進める中で、本サミットが将来、木育の歴史を振り返ったときに、忘れられないサミットになるくらい充実した内容、講師陣になったと自負しております。あとは皆様とのやりとりを通して、さらに議論が深まることを期待しています。皆様と深く有意義な時間を過ごせる事を楽しみにしております。

10:00	開会・オープニングセレモニー
	主 催 者 挨 拶：多田 千尋（東京おもちゃ美術館 館長） 実行委員長挨拶：一條 達雄（一條ランバー株式会社 代表取締役）
10:15	基調講演 本郷 浩二（林野庁長官）
10:35	基調シンポジウム 坂本 義次（東京都檜原村長）／青木 亮輔（株式会社東京チェンソーズ） 佐々木 一弘（オークヴィレッジ株式会社）／座長：多田 千尋（東京おもちゃ美術館）
	<b>東京の樹が活かされる —TreeがWoodになる檜原村のトイビレッジ構想—</b>  東京都の多摩地域西部に位置する檜原村。村の93%を森林が占めるこの場所で、林業×木工業×観光業を三位一体とし、Made in Tokyoのおもちゃの一大産地化を目指す「トイビレッジ構想」がスタートしています。林業家が様々な業種と手を携えることによって林業の可能性を広げ、木育的アプローチによってこれまで接点のなかった人々が森に興味を抱くようになってきています。また地場産業を育てることが、山や森にとってどんな意味を持つようになるのか？豊かな森の資源を活かしたプロジェクトは森と人をどうつなぐのか、共に考えます。  
12:00	昼食・休憩
13:30	分科会 ※分科会はお申し込みの際に、右記の①～④の中からご選択ください。→
15:45	クロージングセレモニー
16:20	閉会　閉会後、同会場内にて懇親会を行います。16:40開始予定



## 分科会 ① 「小学校中学校における木育活動の意義」

幼児期は自然との関わりを〈感じる〉ことで経験を蓄積していくのに対し、学校教育では〈知る〉ことで知識を蓄積していくことが増え、体験によって知識を補うこともできます。今回はとくに小中学校のカリキュラムの中で、木育活動を上手く取り入れ、知識としての学びだけでなく、体験としての学びによって森林との関わりを子どもたちに伝えている事例を取り上げます。そして授業を通して子どもたちに何を育もうとしているのか、ねらい・手法・視点を共有することで議論を深めたいと思います。

宮村 連理（東京学芸大学付属小金井中学校）・阿部 華子（同校卒業生）

中橋 浩太（世田谷区立等々力小学校）

橋元 美穂（木育サポートネット代表／木育インストラクター（奈良県吉野町））

座長：大谷 忠（東京学芸大学）



## 分科会 ③ 「『人(ひと)巻き込み力』で 地域に木育を広げる」

森林環境譲与税がスタートしました。この税は、森林整備に使われるだけでなく、住民に対する木材利用の理解促進にも使われます。本分科会では、行政担当者が市民を巻き込むことで、木育の普及啓発を推進している事例を取り上げます。自治体が、どのようなねらいを持ち、どのようなプロセスを経て、成果を出しているのか。地域の中で、市民そして企業や諸団体を巻き込んでの木育推進を成功させるアイデアを出し合います。

横田 泰宏（徳島県那賀町役場）・庄野 洋平（株式会社那賀ウッド）

永尾 和彦（山口県長門市役所）・岩本 美枝（NPO法人人と木）

椎川 忍（一般財団法人 地域活性化センター）

座長：茅野 恒秀（信州大学）



## 分科会 ② 「SDGsに、企業の『木育』は どう貢献できるのか？」

2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された国際目標であるSDGs。企業においてもこの目標達成のための取り組みが始まっています。本分科会ではSDGsの核となる考え方とそれを取り巻く状況を理解した上で、木育での貢献が期待できる「15.つくる責任 つかう責任」を中心に、各社の取り組み事例を共有します。「つくる」側である企業は消費者に対して何を伝えるべきなのか、また「使う」側である消費者はそれをどう暮らしに活かすべきなのか、参加者とともに考えます。

河口 真理子（株式会社大和総研）

岩本 正人（日本マクドナルド株式会社）

山川 紀子（株式会社GRIP'S）

座長：水谷 伸吉（一般社団法人more trees）



## 分科会 ④ 「お隣さんの問題をズバッと解決！ 教えて、木育のこと」

「木育をやりたいけど、どうやったらいいかわからない…」「木育をやっているけれど壁にぶつかってしまった…」木育をやりたい人、木育をやっている人のあらゆる疑問を、様々な業界で木育活動を推進している専門家とともに、会場の参加者も巻き込んで解決します。分科会の「主人公」は会場にいる参加者全員。スマホやタブレットを使い、各自の疑問・質問を共有、会場全体で解決のためのアイデアを探り、次のアクションに繋がる発見を持ち帰っていただきます。木育サミット初の試み、インタラクティブな分科会、乞うご期待です。

長谷川 泰治（株式会社長谷萬）・山下 晃功（島根大学）

石井 今日子（東京おもちゃ美術館）・株式会社セールスフォース・ドットコム

座長：小友 康広（株式会社小友木材店）



# ウッドスタート活動



ウッドスタート活動とは、地域材を活用した子育て・子育ち環境の整備をし、子どもをはじめとする全ての人たちが、木のぬくもりを感じながら、楽しく豊かに暮らしを送ることができるようしていく取り組みです。全国の自治体向けには、生まれた赤ちゃんに地産地消の木製玩具を誕生祝い品としてプレゼントする事業や、子育て環境に地域材をふんだんに取り入れ、木質化・木育化する事業など、計6項目を展開しています。

## ウッドスタート事業 6項目

### 誕生祝い品事業（必須）

地産地消の木のおもちゃを新生児にプレゼントします。

### 木育インストラクター

地域で木育推進のリーダーとなる人の養成をします。

### 子育てサロンの設立

地域材を活用した木質感あふれるサロンを整備します。

### 木育キャラバンの開催

素晴らしい木のおもちゃとの出会いの場を作ります。

### 木育円卓会議の開催

地域の木育推進をみんなで語り合う場を設けます。

### おもちゃ美術館の設立

東京おもちゃ美術館の姉妹館を設立します。



## みなさんの地域に広がるウッドスタート

私たちは、これまで市区町村、幼保育園、企業と連携しながら、全国各地で木育の取り組みを進めてきました。おかげ様で、全国の生まれた赤ちゃんに地産地消の木製玩具を誕生祝い品としてプレゼントする事業や、子育てサロンの木育化、木育キャラバン・木育円卓会議の開催、また保育園、幼稚園、子育て支援施設の職員向けの各種木育関連講習会の実施や木育カリキュラム・木育おもちゃの導入等を展開することができました。今後も、全国の皆様に「木のおもちゃ」を届け、「木のファン」を増やすことを目標に、市区町村への働きかけを展開していきます。



### ウッドスタート宣言市区町村

\*それぞれ順不同。2019年9月現在。

北海道雨竜町・青森県六ヶ所村・秋田県由利本荘市・秋田県大館市・福島県飯館村・福島県国見町・福島県塙町・群馬県上野村・群馬県みなかみ町・群馬県川場村・埼玉県秩父市・埼玉県ときがわ町・千葉県山武市・東京都新宿区・東京都檜原村・神奈川県小田原市・長野県信濃町・長野県塩尻市・長野県大桑村・長野県木曾町・長野県佐久穂町・富山県氷見市・岐阜県美濃市・岐阜県大野町・兵庫県宍粟市・奈良県吉野町・鳥取県智頭町・岡山県西粟倉村・岡山県新見市・広島県府中市・島根県邑南町・山口県長門市・徳島県那賀町・徳島県三好市・愛媛県西予市・愛媛県久万高原町・愛媛県新居浜市・高知県越知町・高知県佐川町・香川県まんのう町・福岡県那珂川市・熊本県小国町・熊本県五木村・熊本県津奈木町・熊本県芦北町・沖縄県国頭村・滋賀県・徳島県

### ウッドスタート宣言園・モデル園

めぐみこども園(福井県福井市)・美濃保育園(岐阜県美濃市)・下牧保育園(岐阜県美濃市)・グリーンヒル幼稚園(東京都八王子市)・もあな保育園(神奈川県横浜市)・陽だまりの丘保育園(東京都中野区)・かわい幼稚園(岐阜県可児市)・中野みなみ保育園(東京都中野区)・あすなろ幼稚園(東京都葛飾区)・松崎幼稚園(山口県防府市)・ひだまり保育園(群馬県沼田市)・ねむのき保育園(東京都町田市)・リーチェル幼稚園(静岡県富士宮市)・福岡女学院幼稚園(福岡県福岡市)・パルシステム東京ばる★きつず府中(東京都府中市)・青梅幼稚園(東京都青梅市)・みのり保育園(東京都府中市)・田中保育所(東京都府中市)・もあなキッズ自然楽校おだわら・もあな保育園(神奈川県小田原市)・関東学院六浦こども園(神奈川県横浜市)

### ウッドスタート宣言企業

\*現在、新規受付は行っておりません。

(株)良品計画・(株)内田洋行・タマホーム(株)・(株)こうゆう 花まる学習会・(株)長谷萬・(株)GRIP'S・太田木材(株)・(株)高倉木材・一條ランバー(株)・パルシステム生活協同組合連合会・生活協同組合パルシステム東京・生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコーポ・認定NPO法人フレンズ・認定NPO法人NEXTEP・アステリア(株)・オークヴィレッジ(株)・ネットトヨタ和歌山(株)・まちのちから合同会社・イオンスタイル東戸塚・生活協同組合パルシステム千葉・ひらいホールディングス(株)・細田木材工業(株)・キッズベースキャンプ(株)・(株)グランツ・イーワンズ・(株)熊木住建・(株)山長商店・生活協同組合パルシステム埼玉・株式会社 寺本木材



この言葉は、2004年に北海道で生まれた言葉です。その後、2006年に「森林・林業基本計画」の中で閣議決定された言葉もあります。それ以来、全国でさまざまな立場からさまざまな視点でこの言葉を使うようになりました。そこで私たちは、「木育」を「木が好きな人を育てる活動」と考え、「かきくけこ」にまとめました。

- か** = 環境を守る「木育」
- き** = 木の文化を伝える「木育」
- く** = 暮らしに木を取り入れる「木育」
- け** = 経済を活性化させる「木育」
- こ** = 子どもの心を豊かにする「木育」

## ◆とうきょう木育共同宣言

「木とふれあい、木に学び、木でつながる」木育活動にご賛同いただける企業・団体を募集しております。詳細はこちらをご覧ください。▶ <http://goodtoy.org/ms/sengen.html>

## ◆お申し込み

※団体申し込みの手順は、ホームページをご覧ください。

第7回木育サミットは事前申し込み制となります。下記手順に沿って、お申込みください。

### ① 参加予約フォーム

web上の予約フォームに必要事項をご記入ください。

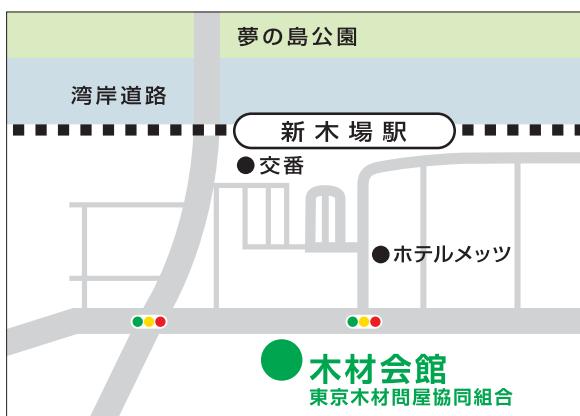
### ② 申込み確認・完了

受付が完了しましたら、自動返信メールをお送りします。内容をご確認ください。

### ③ 当日

受付にて、参加費をお支払いください。

## ◆会場までのアクセス



### 木材会館（東京木材問屋協同組合）

〒136-0082 東京都江東区新木場1-18-8 木材会館

JR京葉線、東京メトロ有楽町線、りんかい線  
新木場駅より徒歩1分

※当会場には駐車場がございません。できるだけ公共交通機関をご利用いただき、お車でお越しの方は近隣の有料駐車場をご利用ください。

※昼食は各自ご持参いただくか、周辺の飲食店をご利用ください。

## ◆主催者紹介



### T 東京おもちゃ美術館

東京おもちゃ美術館は、おもちゃを手にとり、触れて、遊ぶことができる体験型の美術館です。手作りおもちゃを作ることができる「おもちゃ工房」や、季節のイベントなど、子どもだけではなく、大人も赤ちゃんも多世代で楽しめる、さまざまなコンテンツを取り揃えております。また、国産の木材のみで作られた「おもちゃのもり」や、赤ちゃんが木の匂いや触り心地をふんだんに感じられる「赤ちゃん木育ひろば」など、木育にふさわしいコンテンツを多数そろえております。

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-20 四谷ひろば内

**tel:03-5367-9601 fax:03-5367-9602**

<http://www.goodtoy.org/ttm>

## ◆木育情報のポータルサイト：木育ラボ

### もっと知りたい！木育のこと ウッドスタートのこと

これまでの木育活動は、さまざまな団体がそれぞれ取り組みをしてきました。そこで、こうした素晴らしい活動をしている方々の取り組みを紹介し、全国各地に発信していくためのサイトが「木育ラボ」です。このサイトを中心に全国の木育活動をしている組織、団体を結びつけ、より強固な木育ネットワークの構築をめざして活用していくと考えています。



<http://mokukulabo.info/> 木育ラボ 検索